

本校沿革の概要

- 明治 6年5月 川村貫穿支校の湯触学校が川西村406大蔵野長光院本堂を借りて開校される。
- 明治 8年3月 第1大学区第28中学区第99番小学校が湯触学校の分校として中川村111番地に開校される。学区は中川村、世附村、玄倉村、これが本校のはじめである。
- 明治 23年10月 小学校令施行とともに中川村、世附村、玄倉村3ヶ村が連合し、中川村111番地に尋常中川小学校を設置する。
- 明治 42年4月 1日 中川村ほか2ヶ村組合を解き三保村設置の結果、尋常三保小学校と改称する。
- 明治 42年 越田に仮分教場を設置し、子女を収容して教育を施す。経費一切を地区が負担する。
- 大正 6年3月15日 (高等科併置認可) 尋常高等三保小学校と改称される。
- 大正 7年1月28日 尋常高等三保小学校大又沢分教場が設置される。
- 大正 9年9月 1日 未曾有の大洪水に遭遇し甚大なる惨害を被り、大又沢分教場を閉校する。
- 大正 10年4月25日 再び大又沢分教場を開校する。
- 大正 12年4月 1日 尋常高等三保小学校と改称される。
- 昭和 16年4月 1日 国民学校令により、三保村国民学校となる。
- 昭和 22年4月 1日 学制改革により、三保村立三保小学校となる。
- 昭和 30年2月 1日 町村合併により、三保村、清水村、共和村は山北町に合併。山北町立三保小学校と改称される。
- 昭和 34年3月20日 大又沢分校廃校となる。
- 昭和 41・42年度 文部省へき地教育研究指定校となる。
- 昭和 47年7月12日 集中豪雨により三保地区が甚大な被害を受け、本校校舎は避難所になる。
- 昭和 49年11月23日 三保の全地域を上げて開校百年記念式典が挙行される。
- 昭和 49年度 ダム建設水没移転のため、児童147名中72名が他の学校に転出する。
- 昭和 53年1月14日 三保小中学校及び三保支所、三保幼稚園等の山北町三保公共施設合同落成式が挙行される。
- 昭和 54年11月3日 健康優良学校全国優秀校として表彰される。
- 昭和 55年2月29日 健康教育の研究発表会を開催する。
- 昭和 58年12月2日 算数科研究発表会を開催する。
- 昭和 60年2月20日 算数科研究発表会を開催する。
- 昭和 63年2月 1日 ふれあい教育実践発表会を開催する。
- 平成元年 12月 7日 県教育委員会の教育課程(社会科)研究推進校として発表会を開催する。
- 平成2年 1月25日 県教育委員会の教育課程(社会科)研究推進校として発表会を開催する。
- 平成5年 12月 1日 生活科、理科研究発表会を開催する。
- 平成6年 4月 1日 特別支援「あけび学級」新設される。
- 平成7年 4月 1日 神奈川県愛鳥モデル校の指定を受ける。神奈川県研究推進校を受ける。
- 平成10年 1月26日 公開授業研究会(三保タイム・総合)を開催する。
- 平成10年 11月24日 公開授業研究会(三保タイム・総合)を開催する。
- 平成11年 11月22日 公開学習研究会(総合的な学習の時間)を開催する。
- 平成13年 10月26日 全国へき地教育研究大会神奈川分科会を開催する。
- 平成16年 旧三保中学校体育館耐震改修工事
- 平成19年 12月 6日 算数科研究報告会を開催する。
- 平成19・20年 神奈川県地区別性・エイズ教育推進事業指定校として研究を進める。
- 平成23年 かながわ学びづくり推進事業を進める。
- 平成25年 各教室の網戸(2か所)及び視聴覚室の網戸(4か所)設置。
- 平成26年 7月～8月 特別支援学級(つばさ級)扇風機設置、校長室エアコン設置、本校舎屋上屋根の緑改修工事
- 平成26年 12月2日 タイムサーバー親時計交換設置(職員室)